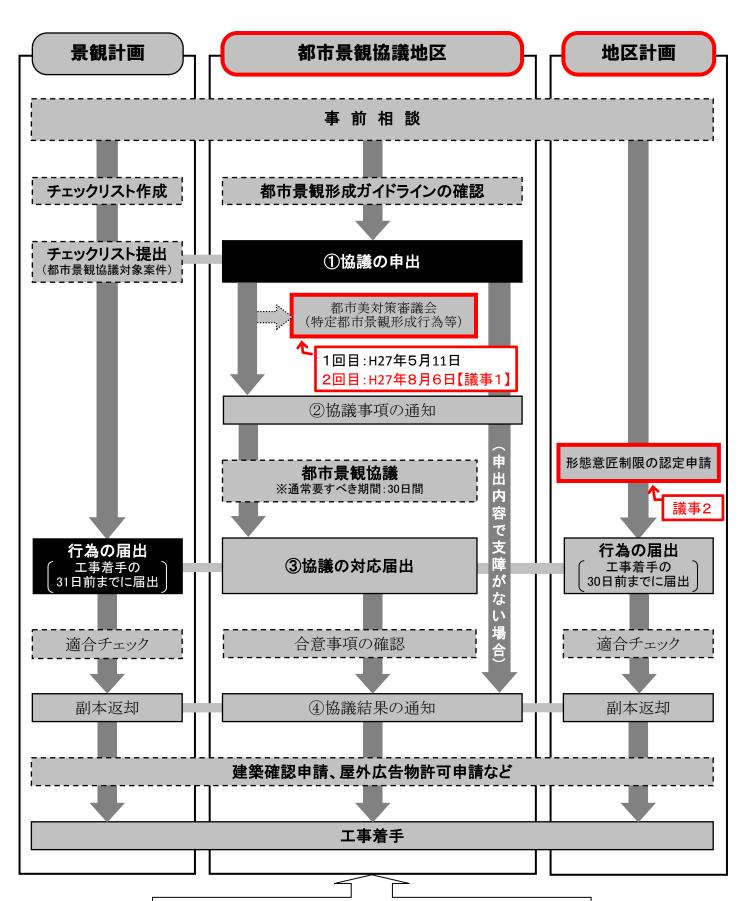
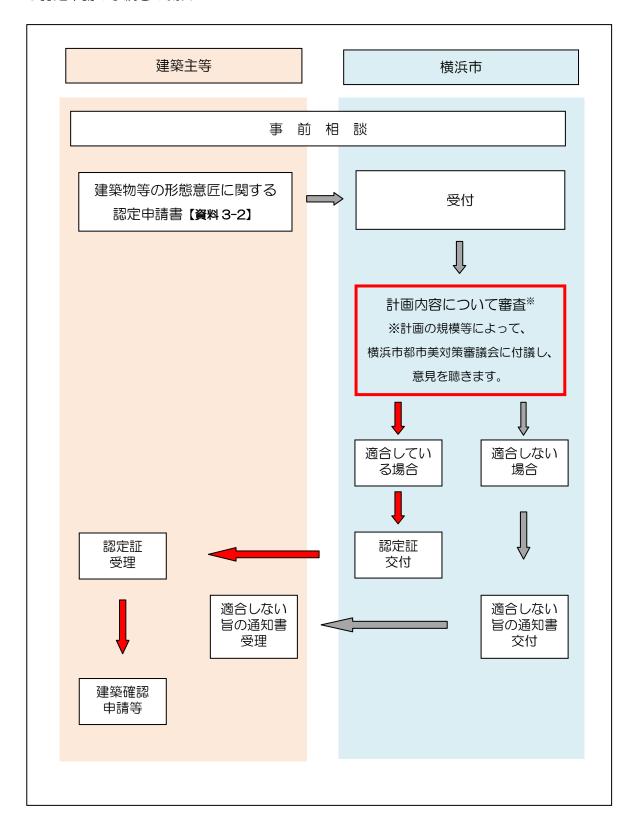
手続きフロー



「協議の申出」から「協議結果の通知」までに通常要すべき標準的な期間は50日です。 ただし、特定都市景観形成行為の場合は、60日です。 なお、この期間は協議の内容及び対応状況により前後します。

●認定申請の手続きの流れ



<計画地の特性と建築概要>

■計画地

: 中区北仲通5丁目ほか

■地域地区

: 商業地域(80%/400%※地区計画により930%まで緩和可)、第7種高度地区(最高高さ31m ※地区計画により200mまで緩和可)、防火地域

■敷地面積

: 13, 135. 36 m²

■用途

: 共同住宅・ホテル・店舗・文化施設

■建物高さ(階数) : 200m(地下1階、地上58階)

<計画趣旨説明と横浜市の協議の方針(案)> (抜粋版)		
配慮すべき「行為指針」	都市景観の形成に関する申出者の考え方	横浜市の協議の方針(案)
1 関内地区全域の行為指針		
(2) 通りの低層部のしつらえを工夫して、連続性のある賑わいを倉		
(ウ) 建築物の前面の空間が魅力的に利用されるよう、低層	工面する建築物における、低層部のしつらえの工夫による賑わいの創出 建築物での歴史的景観の形成とともに、歴史広場の一部では空間利用に	th (11 th o th) - 1
部と外構をデザインする。	自由度を持たせることで、建築物内外の一体的活用を可能としています。ま	申出者の考え方のとおり
	た、栄本町線に面する店舗においては、ファサードに沿って帯状に外部空間	
	(公開空地以外)を確保することで、機能や活用の滲み出しを可能としてい	•
 (5) 関内地区の街並みの特徴を生かす。	ます。これらにより賑わいを演出し、空間の魅力的な利用を促進します。	
ア 関内地区の日並みの特徴を主かり。		
(オ)壁面に取り付ける照明器具は、適度な光量にし、落ち着	低層部では、光量に十分配慮し、歴史的景観を柔らかく浮かび上がらせる	中山本の本と十のしむり
いた照明になるよう工夫する。	ような照明計画とします。	申出者の考え方のとおり
(6) ミナト横浜の歴史を大切にし、関内地区の魅力・個性を伸ばす		
(ウ) 歴史的建造物へのライトアップなどにより、街並みを		申出者の考え方のとおり
演出する。	り、歴史的景観としての街並みを演出します。	
(8) 港や丘などからの眺望景観が魅力的になるよう工夫する。		
ア 都市景観協議地区図に示す「眺望の視点場」から望める位 (エ) 秩序ある広告景観を創出する。		
(9) 関内地区の新しい魅力を創造する。	高層におけるサインは現計画では計画していません。	申出者の考え方のとおり
ア文化芸術創造活動の奨励		
(ア) 新たな用途を誘導したり、新しい空間価値を創造する。	文化芸術創造活動発信の場となり、アフターコンベンションにも対応し	申出者の考え方のとおり
	たホール機能を誘導します。	北仲通北地区の新たな魅力につながるよう、文化芸術創造
(イ) 文化芸術創造活動を行えるスペースを用意し、活用す	クリエイティブラボやショップといった、人の交流や探究心の出会いに	活動発信の場づくりを行ってください。
る。 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	よって新たなイノベーションを創造する空間を創造します。	
ウ 夜間景観の形成	FET 1 17 7 14 11 7V FF 10 1 2 2	
(7) 不快な照明環境を創出しない。	歴史的建造物群、頂部やパブリックフロアのライトアップにおいてグレアの発生を抑えそれぞれを引き立てる、適切な照明計画を行います。	申出者の考え方のとおり
(イ) 都市景観協議地区図に示す「眺望の視点場」からの夜間	北仲通北地区の群造形として調和のとれた夜間景観を演出します。	
の眺望景観を魅力的に演出する。	1011 2012 2012 2012 2012 2012 2012 2012	
(ウ) 都市景観協議地区図に示す「眺望の視点場」からの夜間		
の眺望景観が魅力的になるよう、屋外広告物の照明をデザインはス		
ザインする。 (オ) 落ち着きのある夜間の街路景観を演出する。	(作展如づけ	;
	低層部では、歴史的建造物等を柔らかく浮かび上がらせる照明計画により、歴史的景観としての落ち着きのある街並みを演出します。	
と調和した照明環境を創出する。	- 1、近人は示例としてが作り住てがめる因业のを供出します。	
(キ) 夜間の賑わいを創出するよう、室内から漏れる光を意		
識して、ファサードのデザインを工夫する。		
(1) 歩く楽しさを感じられる配置や配光にする。	デッキへの誘導や、回遊を促す照明計画とします。	

	(f) 広場状空地の特徴に応じて夜間照明のデザインを工夫 する。	歴史広場、大庇、デッキ下、デッキなど空間の持つ特徴を活かした照明計画とします。	
	(シ) 地上駐車場には、落ち着いた照明を用いる。	地上駐車場は、落ち着いた照明計画とします。	
	(ス) 夜間の広告景観を演出する。	夜間の広告景観を演出します。	
(10) ₹	失序ある広告景観を形成する。		
	ア 良好な景観、落ち着きのある街並みの創出		
	(7) 魅力的な眺望景観、街路景観を形成するよう、秩序ある 広告景観を創出する。	広告掲載の位置等にルールを定める秩序ある景観を創出します。	申出者の考え方のとおり
	(4) 大きな音を出すなど、まちの雰囲気を壊さないように する。	該当ありません。	
	イ 魅力ある広告景観の創出 質の高い広告景観を創造する。	建築デザインと一体的な広告景観を創出します。	申出者の考え方のとおり
2 (5)	北仲通り北準特定地区		
	エ(7) 馬車道創造界隈の形成を推進するため、創造界隈産業 の活性化に貢献する機能を適切に配置し、地区全体の魅力 を創造する。	馬車道創造界隈の形成を推進するため、創造界隈産業の活性化に貢献する機能を歴史的建造物に配置し、地区全体の魅力を創造します。	申出者の考え方のとおり 地区全体の魅力となる機能を配置してください。
	エ(イ) 専門的かつ客観的な意見を取り入れながらエリアマネージメント活動を行うことにより、質の高い業務・商業や、住宅機能等、多様な機能により構成された都心地区にふさわしい魅力づくりと周辺の商店街と一体となった賑わい形成を図る。	北仲通北地区再開発協議会にて作成した「北仲通北地区デザインガイドライン」を運用しながらエリアマネジメント活動を行うことにより、質の高い商業や住宅、宿泊機能等、多様な機能で構成された都心地区にふさわしい魅力づくりとともに、周辺の商店街から連続する賑わい形成を図ります。	申出者の考え方のとおり 都心地区にふさわしい魅力づくりにつながる、北仲通北地 区の特性をふまえた持続的なエリアマネジメント活動を実施 してください。
	カ 屋外広告物は、汽車道又は都市景観協議地区図に示す大さ ん橋の「眺望の視点場」からの眺望景観を阻害しない、落ち 着いた広告景観を形成する。	屋外広告物は、汽車道又は都市景観協議地区図に示す大さん橋の「眺望の視点場」からの眺望景観を阻害しない、落ち着いた広告景観を形成します。	申出者の考え方のとおり

(第3面) 計画趣旨等説明書

敷地特性等の説明

[接する道路の状況(道路の数、接道長さ、幅員、商店街、交通量、歩道の有無など)] 計画地は南側で幅員30 m(幅員7 mの歩道含む)の道路(都市計画道路栄本町線、人通り多い)に 121.884m、北西側で幅員14m(幅員2 mの歩道含む)の道路(区画道路、供用開始前)に208.995m 接しています。 [敷地内及び近接する歴史的な建造物の有無] 敷地内に、旧横浜生糸検査所付属倉庫事務所(横浜市指定有形文化財)、旧横浜生糸検査所付属 生糸絹物専用倉庫(横浜市認定歴史的建造物)があります。 敷地特性や 計画地の東側40mのところに、旧横浜生糸検査所(横浜市認定歴史的建造物)、南側50mのところ 敷地の周辺状況、 に旧第一銀行横浜支店(横浜市認定歴史的建造物)があります。 景観的特徴など [近接する景観的特徴のある施設(河川、港、橋、古木、公園、マリンタワー、商店街等)] 北西側60mに歴史的護岸や水辺空間があります。 〔眺望の視点場からの望見の可否〕 計画地は、山手イタリア山庭園、横浜外国人墓地、大さん橋、山下公園における眺望の視点場か ら望める位置にあります。 [敷地内及び隣地との高低差] 計画地は概ね平坦で、高低差はありません。 計画地と隣地及び接する道路との高低差はありません。

計画趣旨説明

創造するための方針 中出者の考え方 中出者の考え方 1 関内地区全域の	お空区側せ
(7) 壁面後退が規定されている敷地では、ゆとりある 計画による壁面後退が規定されている敷地では、ゆとりある歩行者空間を連続的に形成する。 (4) 交差点に接する角地においては、ゆとりある歩行者空間を整備する。 (4) 歩道状空地をかびます。 (4) 歩道状空地をかびます。 (4) 歩道状空地を歩道等と一体に利用できるしつらえい正表は歩道に有効に連続させています。 (5) 歩道状空地を歩道等と一体に利用できるしつらえいでは、ゆとりある歩行者空間のしつらえの工夫 (7) 横浜第二合同庁舎境界にて、画道路側は連続性を確保、栄本町総は歩道に有効に連続させています。 (4) りり 段差を設けず舗装材を合えにする。 (4) りり 段差を設けず舗装材を合るなど、一体的な利用とデザインに	お空区側せ
(1) ゆとりある歩行 者空間を連続的に 形成する。 (4) 交差点に接する角地においては、ゆとりある歩行 者空間を整備する。 (4) 歩道状空地を立たの工夫 (7) 歩道状空地の隣地境界部では連続性を確保する (4) 歩道状空地を歩道等と一体に利用できるしつら えにする。 (5) 歩道状空地を歩道と一体的にデザインする。 (6) 歩道状空地を歩道と一体的にデザインする。 (7) 検差を設けず舗装材を含るなど、一体的な利用とデザインに	空」区側せ
者空間を連続的に 形成する。 (4) 交差点に接する角地においては、ゆとりある歩行 者空間を整備する。 (4) 歩道状空地に加えて一般公開 地を併設しています。 (5) 歩道状空地の隣地境界部では連続性を確保する (6) 歩道状空地を歩道等と一体に利用できるしつら えにする。 (7) 歩道状空地を歩道をと一体に利用できるしつら えにする。 (9) 歩道状空地を歩道と一体的にデザインする。 (4) 歩道状空地を歩道と一体的にデザインする。	区側せ
形成する。 者空間を整備する。 地を併設しています。 イ 歩行者空間のしつらえの工夫 (ア) 歩道状空地の隣地境界部では連続性を確保する (イ) 歩道状空地を歩道等と一体に利用できるしつら えにする。 (ク) 歩道状空地を歩道と一体的にデザインする。 は歩道に有効に連続させています。 (イ) (ク) 段差を設けず舗装材を合るなど、一体的な利用とデザインに	区側せ
イ 歩行者空間のしつらえの工夫 (7) 歩道状空地の隣地境界部では連続性を確保する (4) 歩道状空地を歩道等と一体に利用できるしつら えにする。 (5) 横浜第二合同庁舎境界にて、 画道路側は連続性を確保、栄本町線 は歩道に有効に連続させています。 (6) り 段差を設けず舗装材を合 るなど、一体的な利用とデザインに	側せ
(7) 歩道状空地の隣地境界部では連続性を確保する (イ) 歩道状空地を歩道等と一体に利用できるしつら えにする。 (ウ) 歩道状空地を歩道と一体的にデザインする。 (カ) 歩道状空地を歩道と一体的にデザインする。 (イ) (ウ) 段差を設けず舗装材を含めるなど、一体的な利用とデザインに	側せ
(イ) 歩道状空地を歩道等と一体に利用できるしつら は歩道に有効に連続させています。 えにする。 (イ) (ウ) 段差を設けず舗装材を合 (ウ) 歩道状空地を歩道と一体的にデザインする。 るなど、一体的な利用とデザインに	난
えにする。 (イ)(ウ) 段差を設けず舗装材を合(ウ) 歩道状空地を歩道と一体的にデザインする。 るなど、一体的な利用とデザインに	
(ウ) 歩道状空地を歩道と一体的にデザインする。 るなど、一体的な利用とデザインに	
	纪丨
	- 1
1 関内地区全域の ア 都市景観協議地区図に示す「歩行者ネットワーク街 (7) 各エリアを結ぶネットワーク	
一行為指針 路」に面する建築物における、低層部のしつらえの工 路に面して歴史的景観を復元した	
(2) 通りの低層部の 夫による賑わいの創出 史広場を配しています。馬車道駅と	· 1
しつらえを工夫し (ア) 「関内地区の各エリアを結ぶネットワーク街路」 際線をつなぐ歩行者空間にゲート	- 1
て、連続性のある	な
賑わいを創出す 低層部や空地には、通りの賑わいを創出するため、 ど賑わいを形成しています。	
る。 楽しい活動や多様な機能を配置する。特に「商業の (イ) 歴史的景観形成においては	
ネットワーク街路」に面する敷地の場合は、積極的 存・復元を優先するが、その他の店	
に賑わいを形成する。 は開放的なファサードやテラスの	没
(イ) 「関内地区の各エリアを結ぶネットワーク街路」 置などにより賑わいを創出します。	
又は「商業のネットワーク街路」に面する建築物の () (ウ)建築物での歴史的景観の形成	- 1
低層部に楽しい活動や多様な機能を配置する場合 ともに、歴史広場の一部では空間利	
は、室内の様子がうかがえる形態意匠にする。 に自由度を持たせることで、建築物	
(ウ) 建築物の前面の空間が魅力的に利用されるよう、 外の一体的活用を可能としていま	٠
低層部と外構をデザインする。 また、栄本町線に面する店舗におい	て
は、ファサードに沿って帯状に外部	空
間(公開空地以外)を確保すること	. l
機能や活用の滲み出しを可能とし	7
います。これらにより賑わいを演	#
し、空間の魅力的な利用を促進し	まし
イ 「歩行者ネットワーク街路」に面する敷地における、 (7)(4)住宅の要素、駐車場、駐	論
特に配慮が必要な要素の配置やデザインの工夫場などは街路側を避けた配置とし	てし
(7) 住宅用途を設ける場合は、通りの賑わいを分断し います。	- 1

	いいとこ 仕掛土明めば2異も担かじの可畏めざば	(4) 野末担の出るロンナは現を向けられ
	ないよう、住棟玄関やゴミ置き場などの配置やデザ	(ウ)駐車場の出入口は街路側を避け、
	インを工夫する。	区画道路に配置しています。
	(イ) 駐車場や駐輪場は、街並みや賑わいの連続性を阻	(エ) 商業用途等の附置義務駐輪及び、
	害しないよう配置、デザインを工夫する。	地域貢献施設として公共的駐輪場を
	(ウ) 駐車場の出入口等の配置は、人通りの多い通り沿	建物内部に確保しています。
	いを避ける。	72 101 1HP(-12 PM 0 C 0 0) 8
•		
	(エ) 商業・業務用途を設ける場合は、短時間利用のた	*
	めの駐輪スペースを確保し、通りの賑わいや通行を	
	阻害しないように配置、デザインする。	
1 関内地区全域の	ア 誰でも気軽に利用できる場の提供	(ア)「ゆとりある交差点の創出」「広
行為指針	(7) 交差点に接する角地には、ゆとりある空間を創出	場状空地の設置が求められる位置」に
(3) 人々に交流を促	し、低層部や外構をデザインする。	該当ないが、植栽及び園路による潤い
1 , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
す快適な広場状空	(イ) 街角には休み、憩える場を創出する。	とゆとりある空間を創出します。
地を創出する。	(ウ) 歴史的建造物や港などを望める位置には、憩える	(イ)(ウ)大庇をかけた歴史広場や馬
	場を創出する。	車道駅と水際線をつなぐ広場状空地
	(エ) 屋内外の広場状空地には、モニュメントなどを展	を設け市民の憩いの場を創出します。
		(エ) 歴史広場において、歴史的建造
,		物の実装材による復元や展示を行い
		ます。
	> the trade of the second of t	
	イ 敷地内での新しい回遊ルートの創出	歴史広場や馬車道駅と水際線をつな
	敷地内や屋内に、通り抜けができる敷地内空地を創	ぐ広場状空地を、2 階デッキで有効に
	出し、新しい回遊ルートを創造する。	連続させ回遊動線を創出します。
	ウ バス停などの付近におけるゆとりある空間の創出	地下鉄出入口から直結の空間として、
	バス停や鉄道駅付近の敷地には、広場状空地を整備	歴史広場や馬車道駅と水際線をつな
	し、ゆとりある空間を創出する。	ぐ広場状空地を創出します。
1 関内地区全域の	ア・敷地内の緑化	(7) 高木や中木、地被植栽を縫う園
行為指針	(ア) 街路樹などの公共空間の緑を補完し、多様なスケ	路など、歩行者の視線や動線に配慮し
		面的に潤いのある緑化計画とします。
(4) 緑化や水際の活	ールの緑を創出する。	
用により、まちに	(イ) 通りの演出として、店先や壁面、屋上の緑化を心	(4) デッキに沿った連続的な壁面緑
潤いを創出する。	がける。	化や低層部の屋上緑化により、通りや
		広場に潤いを演出します。
	イ 水際の親水性の向上	該当ありません。
	都市景観協議地区図に示す「水際の親水性が求めら	
	れる部分」では、親水性が向上するよう工夫する。	
1 関内地区全域の	ア 関内地区らしい街並みの継承による親密な空間の	(ア) 旧横浜生糸検査所や旧横浜生糸
行為指針	創出	検査所付属倉庫事務所のコーニスラ
(5) 関内地区の街並		インを住棟の基壇や大庇高さと調和
1	(ア) 街並みの連続性を創出するよう、建築物の 31m	
みの特徴を生か	以下の部分のデザインを工夫する。	させ街並みの連続性を創出します。
す。	(4) 歩行者が親しみを持てる空間を創出するため、建	(イ) 住棟基壇や大庇による分節によ
	築物の低層部と中低層部のファサードを分節する。	り歴史的景観を際立たせます。
	(ウ) 関内地区の街並みに調和する色彩を用いる。	(ウ) (エ) 歴史的景観の保存・復元か
	(エ) 関内地区らしい街並みを維持・創出するため、既	らレンガを基調とした街並みの調和
	存の建築物をリフォームして使い続ける。	を図ります。
	(オ) 壁面に取り付ける照明器具は、適度な光量にし、	(オ) 低層部では、光量に十分配慮し、
	落ち着いた照明になるよう工夫する。	歴史的景観を柔らかく浮かび上がら
·		せるような照明計画とします。
	イ 親密な空間の創出	(ア) 店舗テラスなどにヒューマンス
	(ア) 日よけなどの備品の設置により、親密な空間を創	ケールな什器備品を配置し、親密な空
	出する。	間を創出します。
	(イ) 多様な種類の植栽方法により、憩いの空間を創出す	(イ) プランター、ハンギングバスケ
	る。	ットなどの植栽により季節感や潤い
	ა მ	を演出します。
		と1尺川 レみり。

ウ 賑わいの連続性の創出

- (ア) 駐車場や駐輪場は、街並みや賑わいの連続性を阻害しないよう配置、デザインを工夫する。
- (イ) 駐車場の出入口等の配置は、人通りの多い通り沿いを避ける。
- (ウ) 商業・業務用途を設ける場合は、短時間利用のための駐輪スペースを確保し、通りの賑わいや通行を阻害しないよう、配置、デザインを工夫する。
- (エ) 建築物の低層部には、通りに賑わいを創出するよう、楽しい活動や多様な機能を配置する。
- (オ) 建築物の低層部に商業用途を設ける場合は、室内 の様子がうかがえるよう、デザインを工夫する。
- (カ) 建築物の前面の空間が利用されるよう、低層部と 外構をデザインする。
- エ 関内地区にふさわしい共同住宅の創出
 - (ア) 住宅用途を設ける場合は、関内地区の街並みに調和した都心型住宅を創る。
 - (イ) 住宅用途を設ける場合は、賑わいを分断しないよう、住棟玄関やゴミ置き場などの配置やデザインを 工夫する。
 - (ウ) 高さが 31mを超える住宅用途の建築物は、圧迫 感のない街並みを形成するため、中層部、高層部を 塔状にするなどして、適切な隣棟間隔を確保する。
- オ 都市景観協議地区図に示す歴史的建造物や港への「見通し景観」の演出による通りの個性の創出
 - (7) 眺望対象への見通しを阻害しないよう建築物や 工作物、植栽等を配置する。
 - (イ) 眺望対象が引き立つような建築物のデザインにする.
 - (ウ) 夜間の見通しを演出する。
 - (エ) 「見通し景観」を魅力的に演出するよう、屋外広告物のデザインを工夫する。
 - (オ) 歴史的建造物や港への見通しを楽しめるよう、本町通りの交差点付近の空間を創出する。
 - (カ) 「見通し景観」を魅力的に演出するよう、街路や 公園等の公共空間のデザインを工夫する。

- (ア) 駐車場や駐輪場が直接街路に面 しなうよう、屋内に計画しています。
- (4)駐車場の出入口は街路側を避け、区画道路に配置しています。
- (f) 商業用途等の附置義務駐輪及び、 地域貢献施設として公共的駐輪場を 建物内部に確保しています。
- (エ) 歴史広場に面して、文化施設や 店舗、展望室やホテルのエントランス を配置し賑わいを創出します。
- (オ) 店舗は開放的なファサードやテラスの設置により賑わいを創出します。
- (カ) 店舗においては、ファサードに 沿って帯状に外部空間を確保し、サイ ンやプランターなどによる賑わいの 演出を可能としています。
- (7) 関内地区に面したファサードは インナバルコニーを基調としたグリッドデザインにより街並みとの調和 を図っています。
- (イ) 住棟玄関は通りの賑わいを避けた配置とし、ゴミ置き場などは地下に計画しています。
- (ウ) 中層部、高層部を段階的に塔状にし、長手となる東西面ではバルコニーデザインによる明快な分節により 圧迫感を低減しています。
- (ア)(イ)該当ないが、地区計画において「港への見通し景観」及び「横浜ランドマークタワーへの見通し景観」が定められており、建築物等の配置や、眺望対象と同調しない色彩計画、視線を誘導する横線強調など、建物デザインに配慮しています。
- (ウ) (エ) (オ) (カ) 該当ありません。

1 関内地区全域の 行為指針

(6) ミナト横浜の歴 史を大切にし、関 内地区の魅力・個 性を伸ばす。

ア 歴史的建造物の保全活用

歴史的建造物や土木遺構を保全し活用する。

イ 歴史的建造物を引き立たせる工夫

- (7) 歴史的建造物の敷地内に増築する場合は、歴史的 建造物が引き立つよう、デザインを工夫する。
- (イ) 都市景観協議地区図に示す「歴史的景観の形成を 目指す部分」の建築物のデザインは、歴史的建造物 と調和させる。
- (ウ) 歴史的建造物へのライトアップなどにより、街並みを演出する。

旧横浜生糸検査所付属倉庫事務所の 保存及び、旧横浜生糸検査所付属生糸 絹物専用倉庫を復元し、文化施設とし ての機能を持たせることで、有効に活 用を促す計画としています。

- (ア) 住棟基壇や大庇による分節により、歴史的景観を際立たせています。
- (4) ブリックの新旧建材を融合させるなど、みなとみらい地区への歴史的シークエンスを演出、歴史的建造物を際立たせるとともにその調和を図ります。
- (ウ) 低層部では、歴史的建造物等を柔らかく浮かび上がらせる照明計画により、歴史的景観としての街並みを演出します。

ウ 開港の歴史の発信 敷地の持つ歴史や物語を表現する。

旧横浜生糸検査所付属生糸絹物専用 倉庫を忠実に復元し、残された実装材 の展示、生糸倉庫や米軍接収時の社交

場として活用された歴史を後世に受 け継ぐための施設を計画しています。 建築物の高さ 21m以上の部分の壁面 関内地区全域の 高さ 31mを超える建築物等による歩行者への圧迫 を後退させデザインを分節すること 行為指針 で、圧迫感を低減しています。 (7) 中層、高層の建 街並みにおける建築物等の圧迫感を軽減するため、 分節化するなど建築物等の高層部のデザインを工夫 築物は、デザイン を工夫し、魅力あ する。 る街並みを形成す イ 高さ31mを超える建築物等による眺望景観の演出 (ア)港からの見付を小さくするため、 る。 (7) 都市景観協議地区図に示す「眺望の視点場」から 港に対して直行方向に長い長方形の の眺望を保全・創造するよう、建築物等を配置する。 平面計画としています。 (4) 高層部と一体的な頂部デザイン (4) 関内地区の街並みに調和し、魅力あるスカイライン を形成するよう、建築物等の頭頂部のデザインを工夫 によりランドマークからのスカイラ インを関内地区につなげています。 (ウ) 関内地区に面したファサードは (ウ) 関内地区の街並みに調和するよう、建築物等の中 インナバルコニーを基調としたグリ 層部、高層部のデザインを工夫する。 ッドデザインにより街並みとの調和 (エ) 隣接する地区やゾーンとの高さ制限の差が大き を図ります。みなとみらい地区と い敷地においては、建築物等の当該高低差となる部 の結節点という北仲通地区の特 分は、周辺の街並みに調和するよう配慮する。 性から、汽車道側のファサード (t) 高さが 31mを超える中層、高層の住宅用途の建築 ではガラスを基調としたボーダ 物は、圧迫感のない街並みを形成するため、中層部、 ーデザインを取り入れみなとみ 高層部を塔状にするなどして、適切な隣棟間隔を確保 らい地区との呼応を図り、両地 する。 区のデザイン要素の融合を表現 します。 (エ) 低層部において、旧横浜生糸検 杳所や旧構浜牛糸検査所付属倉庫事 務所のコーニスラインを住棟の基壇 や大庇高さと調和させ街並みの連続 性を創出します。 (オ) 中層部、高層部を段階的に塔状 にし、長手となる東西面ではバルコ ニーデザインによる明快な分節によ り圧迫感を低減しています。 (7) 北仲北地区の高層群造形におけ 関内地区全域の ア 都市景観協議地区図に示す「眺望の視点場」から望 る象徴的な役割として頂部デザイン 行為指針 める位置にある敷地における建築物等の演出 に景観軸を付加し特徴を持たせ、空に (8) 港や丘などから (ア) 眺望景観の魅力を高めるよう、建築物等の壁面の 溶け込む上昇感を創出しています。 の眺望景観が魅力 向きや幅、形態、色彩等のデザインを工夫する。 的になるよう工夫 (イ) 関内地区の街並みに調和し、魅力あるスカイライ (4) 高層部と一体的な頂部デザイン ンを形成するよう、頭頂部のデザインを工夫する。 によりランドマークからのスカイラ する。 (ウ) 関内地区の街並みに調和するよう、建築物等の中 インを関内地区につなげています。 層部、高層部のデザインを工夫する。 (ウ) 関内地区に面したファサードは インナバルコニーを基調としたグリ (エ) 秩序ある広告景観を創出する。 ッドデザインにより街並みとの調和 を図ります。 (エ) 高層におけるサインは現計画で は計画していません。 (ア) ~ (カ) 該当ありません。 イ 都市景観協議地区図に示す横浜三塔への魅力ある 眺望景観の創出 (7) 前景エリアの建築物等は、「横浜三塔への眺望の 視点場」から眺望対象を望めるデザインを工夫す (イ) 前景エリアの建築物等は、頭頂部のデザインを工 夫する。 (ウ) 前景エリアの建築物等は、港からの魅力的な眺望 景観や歴史的景観に調和するデザインにする。 (エ) 後景エリアの建築物等は、頭頂部のデザインを工 (オ) 後景エリアの建築物等は、眺望対象が引き立つよ う、デザインを工夫する。 (カ) 後景エリアでは、横浜三塔への魅力的な眺望を形

	ナンフトミルウとファナル目知とアナンフ	<u> </u>
	成するよう秩序ある広告景観を形成する。	
1 関内地区全域の	ア文化芸術創造活動の奨励	(ア) 文化芸術創造活動発信の場とな
行為指針	(ア) 新たな用途を誘導したり、新しい空間価値を創造す	り、アフターコンベンションにも対応
(9) 関内地区の新し	3.	したホール機能を誘導します。
い魅力を創造す	(イ) 文化芸術創造活動を行えるスペースを用意し、活	(イ) クリエイティブラボやショップ
る。	用する。	といった、人の交流や探究心の出会い
		によって新たなイノベーションを創
,		造する空間を創造します。
	イ 地区や通りごとの個性の創出	(ア) 北仲北通地区デザインガイドラ
	(ア) 地区や通りごとに独自の景観を創造する。	インや照明ガイドラインを作成し、独
	(イ) 地区や通りごとに独自の景観を創り出す活動を行	自の景観を創造します。
	う。	(イ) 地区全体の一体的な管理・運営
		を行うエリアマネジメント組織を設
	•	立し、継続的に活動を行います。
	ウ 夜間景観の形成	(7) 歴史的建造物群、頂部やパブリ
	(ア) 不快な照明環境を創出しない。	ックフロアのライトアップにおいて
	(イ) 都市景観協議地区図に示す「眺望の視点場」から	グレアの発生を抑えそれぞれを引き
·	の夜間の眺望景観を魅力的に演出する。	立てる、適切な照明計画を行います。
	(ウ) 都市景観協議地区図に示す「眺望の視点場」から	(イ)(ウ) 北仲通北地区の群造形とし
	の夜間の眺望景観が魅力的になるよう、屋外広告物	て調和のとれた夜間景観を演出しま
	の照明をデザインする。	す。
	(エ) 夜間の横浜三塔への眺望景観を魅力的に演出す	(´^ ° (´エ)該当ありません。
	る。	(オ) (オ) (キ) 低層部では、歴史的建
	(オ) 落ち着きのある夜間の街路景観を演出する。	造物等を柔らかく浮かび上がらせる
	(カ) ライトアップを実施している周囲では、ライトア	照明計画により、歴史的景観としての
	ップと調和した照明環境を創出する。	落ち着きのある街並みを演出します。
	(す) 夜間の賑わいを創出するよう、室内から漏れる光	俗の何さのめる日並みを傾出しまり。 (ク) デッキへの誘導や、回遊を促す
	を意識して、ファサードのデザインを工夫する。	
		│ 照明計画とします。 │ (ケ)歴史広場、大庇・デッキ下、デ
	(ク) 歩く楽しさを感じられる配置や配光にする。	
	(ケ) 広場状空地の特徴に応じて夜間照明のデザイン	ッキなど空間の持つ特徴を活かした
	を工夫する。	照明計画とします。
•	(コ) 水際の夜間景観を演出する。	(コ) 該当ありません。
	(†) 自動販売機を設置する場合は、街並みとの調和に	(シ) 地上駐車場は、落ち着いた照明
	配慮し、照明は最小限にする。	計画とします。
•	(シ) 地上駐車場には、落ち着いた照明を用いる。	(ス) 夜間の広告景観を演出します。
	(2) 夜間の広告景観を演出する。	(2) -1-1-1-17-18
1 関内地区全域の	ア良好な景観、落ち着きのある街並みの創出	(ア) 広告掲載の位置等にルールを定
行為指針	(7) 魅力的な眺望景観、街路景観を形成するよう、秩	める秩序ある景観を創出します。
(10) 秩序ある広告	序ある広告景観を創出する。	(イ) 該当ありません。
景観を形成する。	(イ) 大きな音を出すなど、まちの雰囲気を壊さないよ	
	うにする。	
	イ 魅力ある広告景観の創出	建築デザインと一体的な広告景観を
	質の高い広告景観を創造する。	創出します。
2 地区別の行為指針		
(5) 北仲通り北	別紙のとおり	別紙のとおり
準特定地区		
	場合け 別紙で提出できます	

(注意) 項目が多い場合は、別紙で提出できます。

計画趣旨説明

魅力ある都市景観を 創造するための方針	配慮すべき「行為指針」	都市景観の形成に関する申出者の考え方
2(5) 北仲通り北	ア(ア) a 帝蚕事務所ビルの保全や、帝蚕倉	旧横浜生糸検査所付属倉庫事務所は保全し
準特定地区	庫B号棟の保全又は概ね同位置への帝	活用します。帝蚕倉庫B号棟は耐震性等安
	蚕倉庫C号棟の曳屋などにより保全し、	全性の懸念から、歴史的建造物認定の元、
	活用する。	極力忠実な復元とともに活用します。
	ア(7) b 概ね帝蚕倉庫 B 号棟及び帝蚕倉	住棟平面計画の工夫により、高層棟柱を極
•	庫C号棟に囲まれた位置において、かつ	力落とさずに歴史広場を確保し、より魅力
	ての倉庫群の歴史を伝える空間を創出	ある歴史的景観を創出します。
	する。	
	ア(ア) c 帝蚕倉庫B号棟及び帝蚕倉庫C	建築物の外壁は、同 C 号棟の外壁のレンガ
	号棟に囲まれた空間に面する建築物の	柱の幅及びスパンの位置や、レンガ柱上部
	外壁は、同C号棟の外壁のレンガ柱の幅	のオーナメント、コーニスなどについて忠
	及びスパンの位置や、レンガ柱上部のオ	実に復元を行います。物性調査によるレン
	ーナメント、コーニスなどについて復元	ガ再利用の安全性検証や本町 4 丁目交差点
	を行い、復元するレンガ柱には、帝蚕倉	からの視認性を考慮し、既存レンガの積極
	庫のレンガの積極的な活用を図る。	的活用は、帝蚕事務所ビルと隣り合う外壁
		及び歴史広場のドライエリアとすることで
		復元するレンガ柱の過半を目指します。
	ア(イ) a 水際線にある歴史的護岸の復元	該当ありません。
	など、港に隣接し発展した当地区の歴史	
	を継承する。	
	ア(イ) b 万国橋ビルのファサード等の復	該当ありません。
	元など、馬車道から連続する万国橋通り	
	の歴史を継承する。	=+\V+ \n + \r_)
	ア(イ) c 試験灯台の復元や、灯台設計者の	該当ありません。
	R H ブ ラ ン ト ン (Richard Henry Brunton) を顕彰する機能の導入、産業	
	は関係である荷揚げクレーンの保全活用	
	など、港にゆかりのある歴史を継承す	
	る。	
	ア(ウ) 歴史的な造形や意匠を用いてデザ	順守します。
	インする場合は、忠実に復元を行う。	
	イ(ア) a 都市景観協議地区図に示す「北仲	歴史的景観を復元した歴史広場や、ゲート
	通り北地区歩行者ネットワーク」は、多	性を持たせた馬車道駅と水際線をつなぐ広
	様な魅力を持つ連続した歩行者空間を	場状空地、ペデストリアンデッキによる回
	形成する。	遊性や A-3、B-1 街区へ連続した歩行者空間 形成します。これらの空地に沿って店舗や
:		形成します。これらの至地に行って店舗や 文化施設を設けるなど賑わいを創出してい
		ます。
	イ(ア)b 都市景観協議地区図に示す「北仲	多言語対応のサインなど、ユニバーサルデ
	通り北地区歩行者ネットワーク」は、ス	 ザインに配慮した空間とし、質の高い統一
	ロープや点字ブロックなど、だれもが安	感のあるデザインとします。
	心して通行できるようユニバーサルデ	
	ザインに配慮した空間とし、質の高い統	
	一感のあるデザインとする。	
•	イ(ア)c 都市景観協議地区図に示す「北仲	公開空地の整備により歩行者の賑わいをも
•	通り北地区主要な歩行者ネットワーク」	たらすゆとりある幅員を確保します。水際
•	は、歩行者の賑わいをもたらすゆとりあ	公園を介して海への見通しが可能なデッキ
	る幅員の確保や、海への見通しの工夫な	など、場所に応じて特徴をもたせた歩行者
	ど、地区を代表する歩行者空間にふさわ	空間や広場空間を創出します。
	しい設えとする。	

イ(?) は、北仲通り北地区参方者ネットワークに設ける窓内サインは、馬・瀬原 のネットワーク情路1、周辺市街地などを語ぶ、来省者の円滑を回数を促す質の高い統一感のあるデザインとする。 イ(?) に 都市景観路遊地区図に示す「水際線のネットワーク背路」の舗装、手すり、			
中、都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク情路」、周辺市街地などを結ぶ、集街者の円滑な回遊を促す質の高い統一感のあるデザインとする。 イ(ア) の都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク情路」の舗装、手すり、サイン、ベンチ等は、地区全体の歴史的景観と調和した質の高い統一感のあるデザインとする。 イ(ア) の 都市景観協議地区図に示す「北中通り北地区植助ネットワーク情路」の位置にある。建築物の水際線沿いの低層部に、小径などを設け、界際性を流由する。 イ(ア) の 野車場への出入口等、歩道を車両が横切る部分については、デッキの設置でもその他の方法により、歩行者が安心して通行できる空間とし、街道みや賑わいの連続性を阻害した。近近できる空間とし、街道みや賑わいの連続性を確保します。 イ(ア) 前 都市景観協議地区図に示す「北中通り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とします。 イ(ア) 前 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設定とする。 イ(ア) 前 市景観協議地区図に示す「広場とする。 イ(ア) 前 市景観協議地区図に示す「広場には、エリケなどの忠実な復元を行い、高層様のなども広場は、歴史的な労団気とます。 イ(ア) 市 新市景観協議地区図に示す「小際線のネットワーク情路」に面する建築物の2階以下の部分には、海業・業務など都心地区による形態を促死します。 (イ(ア) 本市景観協議地区図に示す「小際線のネットワーク有路」に面する建築物の1階とは、来げ者による廃わいを形成する店舗等を配置し、水際線に入がにより出いの多名哲立みを形成する。 イ(ア) 本市景観協議地区図に示す「小際線のネットワーク情路」に面する建築物の1階の部分には、来情者による廃わいを形成する店舗等を配置し、水際線に入がによります。 第一次を対していまが出ります。 第一次を対していまが出りませた。 第一次を対していまが出りませた。 第一次を対していまが出ります。 第一次を形成するといまが出ります。 第一次を形成するに対していまが出ります。 第一次を形成するに対していまが出ります。 第一次を形成するに対していまが出ります。 第一次を形成するに対していまが出ります。 第一次を形成するに対していまが出ります。 第一次を形成するに対していまが出ります。 第一次を形成するに対していまが出ります。 第一次を表します。 第一次を表しまするに対します。 第一次を表します。 第一次を表しまする。 第一次を表しまする		イ(ア)d 「北仲通り北地区歩行者ネットワ	多言語対応や北仲通北地区で統一感のある
のネットワーク荷路1、周辺市街地などを結ぶ、来街者の円滑な回遊を保す質の高い統一感のあるデザインとする。 イ(ア) を都市景観協議地区図に示す「水酔線のネットワーク音階1の舗装、手すり、サイン、ベンチ等は、地区全体の歴史的景観と調和した質の高い統一感のあるデザインとする。 イ(ア) f 都市景観協議地区図に示す「北中通り北地区補助ネットワーク有路1の位置にある。建築物の水際線沿いの低層部に、小径などを設け、界候性を演出する。 イ(ア) f 都市景観協議地区図に示す「北中通りを他の方法により、歩行者が安しして通行できる空間とし、街部シキリの連続性を確保します。 イ(ア) f 都市景観協議地区図に示す「北中通り北地区地方者ネットワーク月及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とする。 イ(ア) f 都市景観協議地区図に示す「北中通り北地区上なきわしい個性のある設定とする。 イ(ア) f 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区によさわしい個性のある設定とする。 イ(ア) f 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区によさわしい個性のある設定とする。 イ(ア) f 都市景観協議地区図に示す「水酔線のネットワーク商路」に面する建築物の2階以下の部分に対しているが表現しているが表現しているが表現しているが表現としたが広場空間を対したの表の音波みを形成する。 イ(ア) f 都市景観協議地区図に示す「水酔線のネットワーク商路」に面する建築物の1階のから音が変みを形成する。 イ(ア) f 都市景観協議地区図に示す「水酔線のネットワーク部路」に面する建築物の1階が内が大きた。大部景観を優元します。 該当ありません。 東京社会を持つが大きた。大部景など都心地区による古りに、東街市の部分に対し、東街市とは、東街市の部分に対し、東村市とは、大部東など都心地区による古りに、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対し、東村下の部分に対しているが表対しているが表対しているが表対がありません。 イ(ア) a 都市景観協議地区図に示す「水酔線のネットワーク省路」に面する建築物でを第2とし、東村下の部分に対し、東村下の部分に対しているが表対しているのでは、東村でのでは、東村でのでは、東村でのでは、東村でのでは、東村でのでは、東村では、東村でのでは、東村では、東村では、東村では、東村では、東村では、東村では、東村では、東村		一ク」に設ける案内サインは、馬車道駅	案内サインなど、来街者の円滑な回遊を促
を結ぶ、来動者の円滑な回遊を促す質の高い統一感のあるデザインとする。 イ(r) e 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク省路」の舗装、手中り、サイン、ベンチ等は、地区全体の歴史的景観と調和した質の高い統一感のあるデザインとする。 イ(r) f 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区補助ネットワーク街路」の低層部と、小窓をとを設け、界限性を演出する。イ(r) g 駐車場への出入口等、歩道を車両が横切る部分については、デッキの設置やその他の方法により、歩行者が安心して通行できる空間とし、荷並みや賑かいの連続性を確保します。 イ(r) h 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区歩行者ネットワーク」及び、加速に歩きする。場上、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とします。 イ(r) i 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区歩行者ネットワーク」及び、加速区はあさわいい機性のある設之とする。 イ(r) i 都市景観協議地区図に示す「広場等は、地区によさわしい個性のある設之とする。 イ(r) i 都市景観協議地区図に示す「広場等は、地区によさわしい個性のある設之とする。 イ(r) i 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、高業・業務など都心地区はよる主もし、機能を導入し、活気と膨かいのある指数を形成する。 ネ(r) i 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、高業・業務など都の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区に、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、本のは、中の地区は、中の地区は、今日本の地区は、今日本の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中の地区は、中のは、中の地区は、中のは、中のは、中のは、中のは、中のは、中のは、中のは、中のは、中のは、中の		や、都市景観協議地区図に示す「水際線	す質の高いデザインとします。
高い統一感のあるデザインとする。 イ(ケ) e 都市景観旅議地区図に示す「水酔線のネットワーク街路」の舗装、手寸り、サイン、ベンチ等は、地区全体の形皮・ 競当ありません。		のネットワーク街路」、周辺市街地など	
イ(7) e 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」の幅鉄、手すり、サイン、ベンチ等は、地区全体の歴史的景観と調和した質の高い統一感のあるデザインとする。 イ(7) f 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区補助ネットワーク街路」の位置にある、建築物の水際線沿いの低層部に、小径などを設け、界限性を演出する。 イ(7) g 駐車場への出入口等、歩道を車両が横切る部分については、デッキの設置やその他の方法により、歩行者が安心して通行できる空間とし、街並みや賑わいの連続性を確保します。 イ(7) h 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区歩行者ネットワーク」及び、れに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とする。 イ(7) i 都市景観協議地区図に示す「広場」に対して通行できる空間とともに、街道外北地区歩行者ネットワーク月及び、広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とする。 イ(7) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設定ときする。 イ(7) i 帝策倉庫日号様、帝豪倉庫C号様、帝家舎庫B号様、帝豪舎庫C号様、帝安舎庫に対っては、外壁やに関まれた位置に設ける広場は、歴史的会別を開送します。 イ(4) a 都市景観協議地区図に示す「広路線を持つ歴史広場へ面するなど個性ある激ととする。 イ(4) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務が、対していては、外壁やド海心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(4) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水原線と使力に対して、水原線に入るにより、上では大田での分前に表したがよりまでは大田でありません。接当ありません。接当ありません。接近とする。 イ(4) a 都市景観協議地区図に示す「水原線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコープや路地的な立体通路の設備によりません。接近によっさわしい機能を導入し、疑わいを連続的、立体的に創出する形態意匠とします。		を結ぶ、来街者の円滑な回遊を促す質の	
線のネットワーク街路」の舗装、手すり、サイン、ベンチ等は、地区全体の歴史的 景観と調和した質の高い統一感のある デザインとする。 イ(ア)		高い統一感のあるデザインとする。	
サイン、ベンチ等は、地区全体の歴史的 景観と調和した質の高い統一感のある デザインとする。 イ(ア) 「都市景観路議地区図に示す「北仲 通り北地区補助ネットワーク街路」の位置にある、建築物の水除線給いの低層部 に、小径などを設け、界腔性を選出する。 イ(ア) の 駐車場への出入口等、歩道を車両 が横切る部分については、ボッキの改置 やその他の方法により、歩行者が安心し で通行できる空間とし、街並みを賑わいの連続性を確保しよす。 おかたにおいて夫をする。 イ(ア) ト都市景観路議地区図に示す「北仲 通り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間と下す「広場」等は、地区は急さわしい機性のある 設えとする。 イ(ア) 市都市景観路議地区図に示す「広場」等は、地区は急さわしい機性のある 設えとする。 イ(ア) 市番・景観路議地区図に示す「広場時」をは、地区の表別とします。 ・ 一番のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(A) を都市景観路議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、下水路は、大田・野生の建造物等を際立たせ、歴史的別である方には、下水路線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、下水路は下水路が上半地区主要な歩行者ネットワーク、大田・丁水路は一大路で大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大		イ(ア) e 都市景観協議地区図に示す「水際	該当ありません。
景観と調和した質の高い統一感のある デザインとする。 イ(ア) 「都市景観協識地区図に示す「北中 通り北地区補助ネットワーク街路」の位置にある、建築物の水豚線沿いの低層部 に、小径などを設け、界限性を演出する。 イ(ア) g 駐車場への出入口等、歩道を車両 が横切る部分については、デッキの設置 やその他の方法により、歩行者が安心し で通行できる空間とし、荷並みを抑わい の連続性を阻害しない工夫をする。 イ(ア) h 都市景観協議地区図に示す「北中 通り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とする。 イ(ア) i 都市景観協議地区図に示す「広 場」等は、地区によるわしい側性のある 設えとする。 イ(ア) 市 帝至倉庫と号 棟、帝張春衛ドル等に囲まれた位置に 設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じら れるデザインとする。 イ(ア) 市 帝至倉庫と号 棟、帝張春衛ドル等に囲まれた位置に 設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じら れるデザインとする。 ・ イ(イ) a 都市景観協議地区図に示す「水際 線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、南楽・紫弥など都心地区にふさわしい機能を導入し、活 気と騒わいのある街並みを形成する。 イ(イ) b 都市景観協議地区図に示す「水際 線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、南楽・紫弥など都心地区にふさわしい機能を導入し、活 気と騒わいのある街並みを形成する。 イ(イ) b 都市景観協議地区図に示す「水際 線のネットワーク街路」に面する建築物 の1階の部分には、東衛者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に入 がにじみ出てくる形態を運入し、震 該当ありません。 該当ありません。 版さありません。 版が、立体的に創出する形態意匠としま す。 が高業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的、立体的に創出する形態意匠としま す。 が高業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的、立体的に創出する形態意匠としま す。 などよのいたのに創出する形態意匠としま す。 などよのいたのに創出する形態意匠としま す。 などよのいたのに対していたのに創出する形態意匠としま す。 などよのいたのに創出する形態意匠としま す。 などよのいたのに対していたのに対していたのに創出する形態意匠としま す。 など、おのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していために対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していために対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していために対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対しに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していために対していたのに対していたのに対していたのに対しに対しないたのに対しないに対していたのに対しないに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しないに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しな		- 線のネットワーク街路」の舗装、手すり、	
景観と調和した質の高い統一感のある デザインとする。 イ(ア) 「都市景観協識地区図に示す「北中 通り北地区補助ネットワーク街路」の位置にある、建築物の水豚線沿いの低層部 に、小径などを設け、界限性を演出する。 イ(ア) g 駐車場への出入口等、歩道を車両 が横切る部分については、デッキの設置 やその他の方法により、歩行者が安心し で通行できる空間とし、荷並みを抑わい の連続性を阻害しない工夫をする。 イ(ア) h 都市景観協議地区図に示す「北中 通り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とする。 イ(ア) i 都市景観協議地区図に示す「広 場」等は、地区によるわしい側性のある 設えとする。 イ(ア) 市 帝至倉庫と号 棟、帝張春衛ドル等に囲まれた位置に 設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じら れるデザインとする。 イ(ア) 市 帝至倉庫と号 棟、帝張春衛ドル等に囲まれた位置に 設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じら れるデザインとする。 ・ イ(イ) a 都市景観協議地区図に示す「水際 線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、南楽・紫弥など都心地区にふさわしい機能を導入し、活 気と騒わいのある街並みを形成する。 イ(イ) b 都市景観協議地区図に示す「水際 線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、南楽・紫弥など都心地区にふさわしい機能を導入し、活 気と騒わいのある街並みを形成する。 イ(イ) b 都市景観協議地区図に示す「水際 線のネットワーク街路」に面する建築物 の1階の部分には、東衛者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に入 がにじみ出てくる形態を運入し、震 該当ありません。 該当ありません。 版さありません。 版が、立体的に創出する形態意匠としま す。 が高業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的、立体的に創出する形態意匠としま す。 が高業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的、立体的に創出する形態意匠としま す。 などよのいたのに創出する形態意匠としま す。 などよのいたのに創出する形態意匠としま す。 などよのいたのに対していたのに創出する形態意匠としま す。 などよのいたのに創出する形態意匠としま す。 などよのいたのに対していたのに対していたのに創出する形態意匠としま す。 など、おのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していために対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していために対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していために対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対しに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していたのに対していために対していたのに対していたのに対していたのに対しに対しないたのに対しないに対していたのに対しないに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しないに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しないのに対しな		サイン、ベンチ等は、地区全体の歴史的	
アザインとする。 イ(ア) 「都市景製協議地区図に示す「北仲通り北地区補助ネットワーク街路」の位置にある、建築物の水際総合いの低層部に、小径などを設け、界隈性を演出する。 イ(ア) の 駐車場への出入口等、歩道を車両が横切る部分については、デッキの設置やその他の方法により、歩行者が安心して通行できる空間とともに、街道のできる空間とし、街道かみや賑わいの連続性を阻害しない工夫をする。 イ(ア) 「都市景製協議地区図に示す「北仲通り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とします。 イ(ア) 「都市景製協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設之とする。 イ(ア) 「布蚕倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕倉庫B・C号棟においては、外壁やドライエリアなどの忠実な復元を行い、高層棟、帝蚕舎庫B・C号棟においては、外壁やドライエリアなどの忠実な復元を行い、高層棟、帝蚕舎庫B・C号棟においては、外壁やドライエリアなどの忠実な復元を行い、高層棟への影響が極力発生しない広場空間とします。 イ(イ) 「本田青製協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、麻養者による脈かの2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街道みを形成する。 イ(イ) 「都市景製協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による脈かいを形成する。 イ(イ) 「都市景製協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による脈かいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(イ) 「本市景製協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物がの1階の部分には、来街者による脈かいを連続から立た高楽など都小地区によった商業など都小地区にかった商業など都小地区にかった商業など都小地区にかった前業など都小地区にかった前業など都小地区にかった前業など都小地区にかった前業など都小地区にかった前、大阪線に大阪、立体的に創出する形態意匠とします。 第当ありません。 第当かりは、大阪に創出する形態意匠とします。 第一次の第二次の第二次の第二次の第二次の第二次の第二次の第二次の第二次の第二次の第二		景観と調和した質の高い統一感のある	
(7 (7) f 都市景観協議地区図に示す「北仲 通り北地区補助ネットワーク街路」の位 置にある、建築物の水際線治いの低層部 に、小径などを設け、界隈性を演出する。 イ (7) g 駐車場への出入口等、歩道を車両 が横切る部分については、デッキの設置により歩行 老の他の方法により、歩行者が安心して通行できる空間とし、街並みや賑わいの連続性を確保します。 の連続性を阻害しない工夫をする。 イ (7) h 都市景観協議地区図に示す「北仲 通り北地区が育ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とします。 イ (7) i 都市景観協議地区図に示す「広 場」等は、地区にふさわしい個性のある 設えとする。 イ (7) i 不の庫の音の庫とする。 イ (7) i 都市景観協議地区図に示す「広 場」等は、地区にふさわしい個性のある 設えとする。 イ (7) i 不の庫を影響では、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とします。 馬車道駅から直轄する駅前広場は、歴史的 景観を持つ歴史広場へ面するなど個性ある 魅力的な空間とします。 馬車道駅から直轄する駅前広場は、歴史的 景観を持つ歴史広場へ面するなど個性ある 魅力的な空間とします。 のまたいては、外壁や片 ライエリアなどの忠実な復元を行い、高層 を創出します。住棟高層部とは大庭での分 節により歴史の時建造物等を際立たせ、歴史 的景観を復元します。 (4) b 都市景観協議地区図に示す「水際 線のネットワーク街路」に面する建築物 の1階の部分には、麻養・業務など 都心地区によったのに対しては、水際線に人 がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ (4) c 都市景観協議地区図に示す「水際 線のネットワーク省路」に面する建築物 の1階の部分には、来街者による賑わい を形成する店舗等を配置し、水際線に人 がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ (4) c 都市景観協議地区図に示す「水際 線のネットワーク街路」に面する建築物 の1階の部分には、本街者による賑わい を形成する店舗等を配置し、水際線に人 がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ (4) a 都市景観協議地区図に示す「北仲 通り北地区主要な歩行者ネットワーク」 に面する建築物の 2階以下の部分に業 ・ 衛業など都心 地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを 連続的、立体的に創出する形態意匠としま す。 が当ありません。 該当ありません。 該当ありません。 該当ありません。 該当ありません。 該当ありません。 該当ありません。 該当ありません。 は、アルコープや路地的な立体通路の設 置など、概れか平力内に30mごとに分節 は、アルコープや路地的な立体通路の設 置など、線れか平力所に30mごとに分節 は、アルコープや路地のはなは通路の設 置など、線れか平力内に30mごとに分節 することにより、凹凸のあるリズミカル		· ·	
通り北地区補助ネットワーク街路」の位置にある、建築物の水際線沿いの低層部に、小径などを設け、界隈性を演出する。 イ(ア) g 駐車場への出入口等、歩道を車両が横切る部分については、デッキの設置やその他の方法により、歩行者が安心して通行できる空間ととし、省並みや賑わいの連続性を確保します。 イ(ア) h 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とする。 イ(ア) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 イ(ア) j 帝憂倉庫B号棟、帝憂倉庫C号棟、帝蚕舎庫区号棟、帝蚕舎庫B号棟、帝蚕舎庫C号棟、帝蚕舎庫B号棟、帝蚕舎庫C号棟、帝蚕舎庫B号棟、帝蚕舎庫C号根、帝蚕舎庫Bとします。 イ(ア) j 帝憂倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕舎庫Bとします。 イ(ア) j 帝憂倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕舎庫B・C号棟においては、外壁やドライエリアなどの忠実な復元を行い、高層標当物の影響が極力発生しない広場空間と別ける広場と、歴史的な第4を優元します。 (イ() a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、高業・業務など都心地区によったりに、水路線に入がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(イ) 6 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク衛路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水路線に入がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(イ) a 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区正要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的、立体的に創出する形態意匠としま物。カード・大路意匠としま物。カード・大路意匠としま物。カード・大路意匠としま物。カード・大路意区としま物。カード・大路意区としま物のネットワーク省路」に面する建築物は、アルコープや路地的な立体通路の設置を火、税和水平力局に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		イ(ア) f 都市景観協議地区図に示す「北仲	該当ありません。
に、小径などを設け、界隈性を演出する。 イ(7) 度 駐車場への出入口等、歩道を車両が横切る部分については、デッキの設置でやその他の方法により、歩行者が安心して通行できる空間とし、街並みや賑わいの連続性を健害しない工夫をする。 イ(7) 店 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とします。 イ(7) 市 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 イ(7) 市 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 イ(7) 市 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設定ととする。 イ(7) 市蚕倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号様、帝蚕奉蘇所ビル等に囲まれた位置に設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じられるデザインとする。 イ(4) 在 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(4) 在 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) 在 都市景観協議地区図に示す「北中通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務の不少トワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務が高速など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 (5) 在 都市景観協議地区図に示す「北中通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務が高速とど部心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的、立体的に創出する形態意匠とします。 (7) の 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、立体的に創出する形態意匠とします。 (7) の 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地のな立体通路の設備など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル			- -
に、小径などを設け、界隈性を演出する。 イ(7) 度 駐車場への出入口等、歩道を車両が横切る部分については、デッキの設置でやその他の方法により、歩行者が安心して通行できる空間とし、街並みや賑わいの連続性を健害しない工夫をする。 イ(7) 店 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とします。 イ(7) 市 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 イ(7) 市 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 イ(7) 市 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設定ととする。 イ(7) 市蚕倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号様、帝蚕奉蘇所ビル等に囲まれた位置に設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じられるデザインとする。 イ(4) 在 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(4) 在 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) 在 都市景観協議地区図に示す「北中通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務の不少トワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務が高速など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 (5) 在 都市景観協議地区図に示す「北中通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務が高速とど部心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的、立体的に創出する形態意匠とします。 (7) の 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、立体的に創出する形態意匠とします。 (7) の 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地のな立体通路の設備など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル			
マイ(7) g 駐車場への出入口等、歩道を車両が横切る部分については、デッキの設置やその他の方法により、歩行者が安心して通行できる空間とし、街並みや賑わいの連続性を阻害しない工夫をする。 マ(7) h 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とします。 マ(7) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 マ(7) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 マ(7) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 マ(7) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設立とする。 マ(7) i 都市景観協議地区図に示す「広間・			
が横切る部分については、デッキの設置 やその他の方法により、歩行者が安心し で通行できる空間とし、街並みや賑わいの連続性を阻害しない工夫をする。 イ(ア) h 都市景観協議地区図に示す「北仲 通り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とします。 イ(ア) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 イ(ア) i 帝五倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕舎庫B号棟、帝蚕舎藤下ル等に囲まれた位置に設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じられるデザインとする。 イ(ア) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 イ(ア) i 帝五倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕舎庫Bの表別が発生しない広場空間とします。 を変えとする。 イ(ア) i 都市景観協議地区図に示す「広場でおりる広場は、歴史的景観を持つ歴史広場へ面するなど個性ある魅力的な空間とします。 を変えとする。 イ(ア) i 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(ア) i 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑かいを形成する。 イ(ア) i 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑かいを形成する。 イ(ア) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による販かいを来成するによる販かいを連続的の1階の部分には、来街者による販かいを連続的、立体的に創出する形態意匠とします。該当ありません。 総定によさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 該当ありません。 地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的、立体的に創出する形態意匠とします。 では、かない地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 では、かない地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的、立体的に創出する形態意匠とします。			駐車場への出入口等、歩道を車両が構切る
中その他の方法により、歩行者が安心して通行できる空間とともに、街並みや賑わいの連続性を阻害しない工夫をする。 (7) A 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とします。 (7) A 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 (7) 市養倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕争藤所どル等に囲まれた位置に設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じられるデザインとする。 (7) 市都市景観協議地区図に示す「水際線・帝蚕争隊所どル等に囲まれた位置に設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じられるデザインとする。 (4) A 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク者路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 (4) B 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク者路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 (4) C 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク情路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠といる。 (4) C 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク情路」に面する建築物の1階の部分には、東街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に大がにびみ出てくる形態意匠としまる。 (4) C 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク情路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設備など、概れ水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル			
で通行できる空間とし、街並みや賑わいの連続性を確保します。 イ(ア) A 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とします。 イ(ア) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 イ(ア) i 帝蚕倉庫B号様、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕事務所ビル等に囲まれた位置に設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じられるデザインとする。 ボラインとする。 ボリカンとする。 ボリカンとする。 ボリカンとする。 ボリカンとする。 ボリカンとする。 ボリカンとする。 ボリカンとする。 ボリカンとが高層でありません。 「(イ) なお市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク省路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による影力と記する。 ボリカンには、来街者による地かいを形成する店舗等を配置し、水際線にあったがにじみ出てくる形態意匠とする。 ボリカンは、来街者による地が大きなど都が地でによったの部分には、来協者によったの形分には、来協者によったの部分には、来協者によったがにじみ出てくる形態意匠とする。 ボリカンは、東海では、水原線に大がにじみ出てくる形態意匠とする。 ボリカンは、東海では、水原線に大がにじみ出てくる形態意匠とする。 ボリカンは、東海では、水原線に大がにじみ出てくる形態意匠とする。 ボリカンは、東海では、水原線に大がにじみ出てくる形態意匠とする。 ボリカンは、東海では、東海では、東海では、東海では、東海では、東海では、東海では、東海で			· · · · · · · · · · · · · · · · · ·
の連続性を阻害しない工夫をする。 イ(7) h 都市景観協議地区図に示す「北仲 適り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とする。 イ(7) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 イ(7) i 帝蛮倉庫B号棟、帝蛮倉庫C号棟、帝蛮倉庫B・C号棟においては、外壁やドライエリアなどの忠実な復元を行い、高層神道場かの影響が極力発生しない広場空間を削出します。住棟高層部とは大底での分節により歴史的建造物等を際立たせ、歴史的表デザインとする。 イ(4) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク質路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(4) b 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク質路」に面する建築物の1階の部分には、東街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に装・・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 「(7) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク質路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル			
(7) h 都市景観協議地区図に示す「北仲 通り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とします。 イ(7) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 イ(7) j 帝蹇倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕争藤の子ットワーク直路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(4) b 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) c 都市景観協議地区図に示す「北中通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) c 都市景観協議地区図に示す「北中通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に検能を導入し、販わいを連続的に創出する形態意匠とします。 (5) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク協」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠としまである建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 (6) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、ブルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル			
通り北地区歩行者ネットワーク」及びこれに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とする。 イ(7) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 イ(7) j 帝蚕倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕舎藤C号棟、帝蚕事務所ビル等に囲まれた位置に設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じられるデザインとする。 イ(4) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク省路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(4) b 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク省路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) c 都市景観協議地区図に示す「北中通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) c 都市景観協議地区図に示す「北中通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分にままり、世区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 該当ありません。 回遊性を持つデッキに沿った商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 成当のおりません。 な体的に創出する形態意匠とします。 は、アルコープや路地のな立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル			広場にはベンチ等を設け、憩い、くつろげ
れに接続する広場には、ベンチ等を設け、憩い、くつろげる空間とする。 イ (7) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 ヤ (7) i 帝蚕倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕争成に囲まれた位置に設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じられるデザインとする。 イ (7) i 都市景観協議地区図に示す「本際線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ (4) b 都市景観協議地区図に示す「本際線のネットワーク角路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ (4) c 都市景観協議地区図に示す「本際線のネットワーク」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ (4) c 都市景観協議地区図に示す「本の地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 該当ありません。 回遊性を持つデッキに沿った商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 「(5) a 都市景観協議地区図に示す「本の地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 「(7) a 都市景観協議地区図に示す「本の地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 カ (5) a 都市景観協議地区図に示す「本の・立体的に創出する形態意匠とします。 カ (7) a 都市景観協議地区図に示す「本の・立体的に創出する形態意匠とします。			
け、憩い、くつろげる空間とする。 イ(7) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 イ(7) j 帝蚕倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号根、帝蚕倉庫Bではでいた場でに囲まれた位置に設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じられるデザインとする。 イ(4) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(4) b 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにびみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、腰わいを連続的に創出する形態意匠とします。 がにびみ出てくる形態意匠とする。 イ(9) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、ブルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル			
イ(7) i 都市景観協議地区図に示す「広場」等は、地区にふさわしい個性のある設えとする。 イ(7) j 帝蚕倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕事務所ビル等に囲まれた位置に設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じられるデザインとする。 イ(4) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(4) b 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、東街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に大がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 は(4) c 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク方路」に面する建築物の1階の部分には、東街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に大がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) c 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク方路」に面する建築物は、立体的に創出する形態意匠とします。 は(4) c 都市景観協議地区図に示す「水際線が大変を関係を持つデッキに沿った商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的、立体的に創出する形態意匠とします。 は(4) c 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコープや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル			
場」等は、地区にふさわしい個性のある 設えとする。 イ (7)	.		馬車道駅から直結する駅前広場は、歴史的
魅力的な空間とします。		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
イ(7) j 帝蚕倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号棟、帝蚕倉庫B・C号棟においては、外壁やド棟、帝蚕事務所ビル等に囲まれた位置に設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じられるデザインとする。		設えとする。	魅力的な空間とします。
世により歴史的な雰囲気を感じられるデザインとする。	ĺ	イ(ア) j 帝蚕倉庫B号棟、帝蚕倉庫C号	帝蚕倉庫B・C号棟においては、外壁やド
おるデザインとする。 を創出します。住棟高層部とは大庇での分節により歴史的建造物等を際立たせ、歴史的景観を復元します。 イ(イ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(イ) b 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(イ) c 都市景観協議地区図に示す「北中通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的、立体的に創出する形態意匠としまず。 「(ウ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコープや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		棟、帝蚕事務所ビル等に囲まれた位置に	ライエリアなどの忠実な復元を行い、高層
節により歴史的建造物等を際立たせ、歴史的景観を復元します。 イ(4) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(4) b 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 はごとする。 イ(り) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		設ける広場は、歴史的な雰囲気を感じら	棟構造物の影響が極力発生しない広場空間
節により歴史的建造物等を際立たせ、歴史的景観を復元します。 イ(4) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(4) b 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 はごとする。 イ(り) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		れるデザインとする。	を創出します。住棟高層部とは大庇での分
イ(イ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(イ) b 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(イ) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的、立体的に創出する形態意匠とします。 (切) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコープや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル			
線のネットワーク街路」に面する建築物の2階以下の部分には、商業・業務など都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(イ) b 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(イ) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 (ウ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル			的景観を復元します。
の2階以下の部分には、商業・業務など 都心地区にふさわしい機能を導入し、活 気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(4) b 都市景観協議地区図に示す「水際 線のネットワーク街路」に面する建築物 の1階の部分には、来街者による賑わい を形成する店舗等を配置し、水際線に人 がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) c 都市景観協議地区図に示す「北仲 通り北地区主要な歩行者ネットワーク」 に面する建築物の2階以下の部分に業 務・商業など都心地区にふさわしい機能 を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠としま す。 イ(り) a 都市景観協議地区図に示す「水際 線のネットワーク街路」に面する建築物 は、アルコーブや路地的な立体通路の設 置など、概ね水平方向に30mごとに分節 することにより、凹凸のあるリズミカル		イ(イ) a 都市景観協議地区図に示す「水際	該当ありません。
都心地区にふさわしい機能を導入し、活気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(4) b 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(4) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠としまず。 を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 イ(ウ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコープや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		線のネットワーク街路」に面する建築物	
気と賑わいのある街並みを形成する。 イ(イ) b 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(イ) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠としまず。 まず、一般では、水原線にあった。 で(ウ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル	,	の2階以下の部分には、商業・業務など	
イ(イ) b 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(イ) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 は、アルコープや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		都心地区にふさわしい機能を導入し、活	
線のネットワーク街路」に面する建築物の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(イ) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 (ヴ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		気と賑わいのある街並みを形成する。	Section 1997
の1階の部分には、来街者による賑わいを形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(イ) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的、立体的に創出する形態意匠とします。 イ(ウ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		イ(イ) b 都市景観協議地区図に示す「水際	該当ありません。
を形成する店舗等を配置し、水際線に人がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(イ) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 イ(ウ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		線のネットワーク街路」に面する建築物	
がにじみ出てくる形態意匠とする。 イ(イ) c 都市景観協議地区図に示す「北仲通り北地区主要な歩行者ネットワーク」に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 イ(ウ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		の1階の部分には、来街者による賑わい	
イ(イ) c 都市景観協議地区図に示す「北仲 通り北地区主要な歩行者ネットワーク」 に面する建築物の 2 階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 能意匠とする。 イ(ウ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に 30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		を形成する店舗等を配置し、水際線に人	
通り北地区主要な歩行者ネットワーク」 に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とします。 は意匠とする。 イ(ウ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		がにじみ出てくる形態意匠とする。	
に面する建築物の2階以下の部分に業務・商業など都心地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とする。 イ(ウ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		イ(イ) c 都市景観協議地区図に示す「北仲	回遊性を持つデッキに沿った商業など都心
務・商業など都心地区にふさわしい機能 を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とする。 イ(ウ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		通り北地区主要な歩行者ネットワーク」	地区にふさわしい機能を導入し、賑わいを
を導入し、賑わいを連続的に創出する形態意匠とする。 イ(ウ) a 都市景観協議地区図に示す「水際線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		に面する建築物の2階以下の部分に業	連続的、立体的に創出する形態意匠としま
態意匠とする。 イ(ウ) a 都市景観協議地区図に示す「水際 該当ありません。 線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に 30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル		務・商業など都心地区にふさわしい機能	-
イ(ウ) a 都市景観協議地区図に示す「水際 線のネットワーク街路」に面する建築物 は、アルコーブや路地的な立体通路の設 置など、概ね水平方向に 30mごとに分節 することにより、凹凸のあるリズミカル		を導入し、賑わいを連続的に創出する形	•
線のネットワーク街路」に面する建築物は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に 30mごとに分節することにより、凹凸のあるリズミカル			
は、アルコーブや路地的な立体通路の設置など、概ね水平方向に 30mごとに分節 することにより、凹凸のあるリズミカル			該当ありません。
置など、概ね水平方向に 30mごとに分節 することにより、凹凸のあるリズミカル			
することにより、凹凸のあるリズミカル		*	
な水際景観を創出し、ヒューマンスケー		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
		な水際景観を創出し、ヒューマンスケー	

ルを大切にした歩行者空間を形成する。 イ(ウ) b 都市景観協議地区図に示す「水際 該当ありません。 線のネットワーク街路 に面する建築物 のファサードは、垂直方向に以下の三層 構成による分節をし、港や歴史をひきた たせる街並みを形成する。 (a) 建築物の1階の部分は、レンガや石 材又はこれらの質感を持つ素材等と ガラスを併せた、歴史性を尊重しなが らも開放性の高いデザインとする。 (b) 最上階付近の階は、壁面位置の一部 後退やガラス等の素材を中心とした 軽快かつ現代的な意匠への切り替え など、圧迫感を緩和させるデザインと する。 (c) その他の階は、レンガや石材又はこ れらの質感をもつ素材を基調とした デザインとする。 イ(ウ) c 都市景観協議地区図に示す「水際 該当ありません。 線のネットワーク街路」に面する建築物 の頭頂部は、現代的なデザインとし、都 市景観協議地区図に示す「北仲り通北地 区歩行者ネットワーク」や「広場」等か ら屋上設備が見えないよう工夫する。 イ(エ) a 万国橋通りに面する建築物は、概 該当ありません。 ね高さ 21mの位置で分節化し、旧生糸 検査所及び万国橋ビルと連続した街並 みの形成を図る。 イ(エ) b 栄本町線に面する建築物は、高 旧横浜生糸検査所や旧横浜生糸検査所付属 さ 15mから 21mの位置で分節化し、 倉庫事務所のコーニスラインを住棟の基壇 旧生糸検査所や帝蚕事務所と連続し や大庇高さと調和させ街並みの連続性を創 た街並みの形成を図る。 出します。 ブリックの新旧建材を融合させるなど、み イ(エ) c 栄本町線、万国橋通りに面する建 なとみらい地区への歴史的シークエンスを 築物において、形態の分節を行った位置 演出、歴史的建造物を際立たせるとともに より下の部分は、レンガや石材又はこれ 調和のとれた街並みを形成します。 らの質感を持つ素材を用い、旧生糸検査 所や帝蚕事務所、万国橋ビル等との連続 的な歴史的な街並みを形成する。 イ(x) d 栄本町線、万国橋通りに面する建 建築物の高さ 21m以上の部分は、手摺にガ 築物において、形態の分節を行った位置 ラスやアルミ等の軽い素材を用いることに より上の部分は、圧迫感を軽減するた より壁面デザインの分節を行い、圧迫感を め、壁面後退や、ガラス等の軽い素材を 低減しています。 用いるなど、低層部とのデザインを切り 替える工夫をする。 イ(エ) e 区画道路に面する建築物は、分節 高さ分節においては、栄本町線での横浜第 する高さの位置など万国橋通りや栄本 二合同庁舎のコーニスライン (21m) に合わ せた低層基壇の連続性に配慮するととも 町線の街並みとの連続性に配慮したデ ザインとする。 に、水際線低層建築物の三層構成の中層高 さとの呼応を意識したデザインとしていま す。また汽車道からの景観において、足元 から頂部までを見通せる高さ 200m の象徴的 なファサードは、水際線低層建築物群から 際立たせたデザインとしています。 イ(x) f 区画道路に面する建築物の低層 栄本町線から区画道路にかけて、建築物の

部又は低層棟は、それぞれ栄本町線及び |

低層部が連続する街並みの形成に配慮した

万国橋通りに面する建築物の低層部と 素材や白を基調とした色彩とします。 連続した街並みの形成に配慮した素材 や色彩等とする。 イ(エ)g 栄本町線、万国橋通りに面する建 栄本町線に面する建築物の低層部は、歴史 築物の低層部又は低層棟の頭頂部は、歴 的な建造物と明確に区分できるよう大庇等 史的な建造物と明確に区分できるよう でデザインを切り替え、目隠し材により「北 デザインを切り替え、都市景観協議地区 仲通り北地区歩行者ネットワーク」や「広 図に示す「北仲通り北地区歩行者ネット 場しから、屋上設備が見えないよう工夫し ワーク」や「広場」から、屋上設備が見 ます。 えないよう工夫する。 イ(オ) 都市景観協議地区図に示す「見诵し 建物配置に配慮し「見通し景観線」の確保、 景観線」は、みなとみらい21地区や港 みなとみらい21地区や港への見通しの確 への見通しの確保など、奥行きのある都 保など、奥行きのある都市景観を形成に寄 市景観を形成する。 与します。 ウ(ア) a 高さ 45m を超える建築物の部分 高さ 45m を超える建築物の部分は、都市景 (超高層部分) は、都市景観協議地区図 観協議地区図に示す「超高層部分建築範囲」 に示す「超高層部分建築範囲」内とし、 内とし、40m 以上の適切な隣棟間隔を保っ 40m以上の適切な隣棟間隔を保った、ま た、まとまりのある超高層棟群の眺望景観 とまりのある超高層棟群の眺望景観と に寄与します。 なるよう工夫する。 ウ(ア) b 万国橋通り、栄本町線、都市景観 栄本町線に面する超高層部分には、高さ 31m 協議地区図に示す「水際線のネットワー 以下で歴史的建物の軒高の統一性を意識し ク街路」に面する超高層部分には、高さ た建築計画により、圧迫感の軽減に配慮し 31m以下の基壇部などを設け、圧迫感の ます。 軽減の工夫をする。 ウ(ア) c 超高層部分の外壁は、次のような 超高層部分の外壁は、以下のような色彩、 色彩、素材等とし、まとまりある眺望景 素材とし、まとまりある眺望景観を形成 観を形成する。 します。 (a) 外壁の基調として、空に溶け込むよ (a) 外壁の基調として、空に溶け込むよ うな明るい黄系や黄赤系、明度7以上 うな色彩、ガラスの素材を用いて、圧 かつ彩度1以下の色彩のものや、ガラ 迫感を軽減します。 スの素材を用いて、圧迫感を軽減の工 (b) 外壁に用いるアクセントカラーは、過 度な主張をしない色彩を用い、基調となる 夫をする。 (b) 外壁に用いるアクセントカラーは、 色彩に強弱が生まれるよう工夫します。 原則として、黄系又は黄赤系で、明度 4以上かつ彩度6以下程度の過度な 主張をしない色彩を用い、基調となる 色彩にリズムや強弱が生まれるよう 工夫する。 ウ(イ) a 超高層部分はタワー状とし、「北 超高層部分はタワー状とし、視点場からの 仲通北再開発等促進地区地区計画 | の計 4棟の美しい調和と地区のシンボル性を実 画図に示す視点場から、4棟の美しい調 現する、良好な眺望景観を形成します。 和を実現するなど、良好な眺望景観を形 成する。 ウ(イ) b 超高層部分の超高層階部分には、 超高層階部分に、港や内陸部など周囲の景 港や内陸部など周囲の景観を楽しめる 観を楽しめる施設を計画します。 ような工夫を行う。 ウ(イ) c 超高層部分の頭頂部は、屋上設備 超高層部分の頭頂部は、屋上設備を遮へい を遮へいするとともに、外壁の意匠を継 するとともに、外壁の意匠を継承し、軽快 承したり、軽快感のあるデザインに切り 感のあるデザインを工夫します。 替えるなどの工夫を行う。 エ(ア) 馬車道創造界隈の形成を推進する 馬車道創造界隈の形成を推進するため、創

造界隈産業の活性化に貢献する機能を歴史

的建造物に配置し、地区全体の魅力を創造

ため、創造界隈産業の活性化に貢献する

機能を適切に配置し、地区全体の魅力を

創造する。

エ(イ) 専門的かつ客観的な意見を取り入 北仲通北地区再開発協議会にて作成した れながらエリアマネージメント活動を 「北仲通北地区デザインガイドライン」を 行うことにより、質の高い業務・商業や、 運用しながらエリアマネジメント活動を行 住宅機能等、多様な機能により構成され うことにより、質の高い商業や住宅、宿泊 た都心地区にふさわしい魅力づくりと 機能等、多様な機能で構成された都心地区 周辺の商店街と一体となった賑わい形 にふさわしい魅力づくりとともに、周辺の 商店街から連続する賑わい形成を図りま 成を図る。 オ(ア) a 護岸における豊かな生態系に配 協議会を通じて、水辺景観の形成に寄与し 慮し、自然石の利用など自然を感じさせ ます。 る水辺の景観を形成する。 オ(イ) a 都市景観協議地区図に示す「北仲 多様な緑化により、潤いのある歩行者空間 通り北地区歩行者のネットワーク街路」 を創出します。 は多様な緑化により、潤いのある歩行者 空間を創出する。 オ(イ) b 青空駐車場や立体駐車場、車寄せ タワー内部に立体駐車場を計画し、車寄せ 空間、駐車場に連絡するランプ等は、良好 空間、駐車場に連絡するランプ等は、都 市景観協議地区図に示す「北仲通り北地 な景観を阻害しないよう、植栽等を工夫し 区主要な歩行者ネットワーク街路」や公 ます。 園、広場からの良好な景観を阻害しない よう、植栽等の工夫をする。 オ(イ) c 歩行者空間や、都市景観協議地区 歩行者空間には、高木緑化などの植栽を取 図に示す「北仲通り北地区歩行者のネッ り入れ、潤いのある空間とします。 トワーク街路」から望見できる広場、青 空駐車場などは、高木緑化などの植栽を 取り入れ、潤いのある空間とする。 オ(イ) d 栄本町線及び万国橋通りに面す 栄本町線に接する部分の緑化は、既存の街 る敷地のうち、当該通りに接する部分の 路樹との連続性や歴史的建造物への見通し 緑化は、既存の街路樹との連続性や歴史 等の確保、超高層部分による圧迫感の軽減 的建造物への見通し等の確保、超高層部 が図れるよう、樹種や緑化位置等を工夫し 分による圧迫感の軽減が図れるよう、樹 ます。 種や緑化位置等を工夫する。 オ(イ) e 区画道路の歩道に面する敷地の 区画道路の歩道に接する部分は、低中木の うち、当該歩道に接する部分の緑化は、 植栽を施し、緑豊かな空間を創出します。 2列に植栽を施すなど緑豊かな空間を 創出する オ(イ) f 屋上緑化などを積極的に行う。 屋上緑化を積極的に行います。 カ 屋外広告物は、汽車道又は都市景観協 屋外広告物は、汽車道又は都市景観協議地 議地区図に示す大さん橋の「眺望の視点 区図に示す大さん橋の「眺望の視点場」か 場」からの眺望景観を阻害しない、落ち らの眺望景観を阻害しない、落ち着いた広

告景観を形成します。

(注意) 項目が多い場合は、別紙で提出できます。

着いた広告景観を形成する。